

投資者の皆様へ

2018年11月1日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2018年11月1日に下記ファンドの組入銘柄が大きく下落したことから、弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が大きく下落いたしました。つきましては、株式市場の下落要因と今後の見通しについてお知らせいたします。

1.基準価額及び下落率(11月1日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	12,403	▲837	▲6.3

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

上記ファンドに関する要因及び今後の見通しは以下の通りです。

本日の国内株式市場は続落し、日経平均株価は前日比232円81銭安(同1.06%安)の21,687円65銭で取引を終了しました。

1日の国内株式市場では、日経平均株価、東証株価指数(TOPIX)ともに下落しました。構成銘柄のうち、大手通信会社の株価が大幅に下落したことが指数を押し下げる要因となりました。

10月31日にNTTドコモが携帯電話の通信料金を2019年4-6月期に2~4割引き下げると発表し、同業他社にも値下げが波及しました。この発表から収益悪化への懸念が広がり、ソフトバンクグループも大幅下落となりました。また、ヤフーも第2四半期決算で2018年4-9月期純利益が18%減少したことを発表し、これを嫌気した売りが入りました。

弊社の運用する「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、ソフトバンクグループ及びヤフーを主要投資対象銘柄としていることから、本ファンドの基準価額も大きく下落いたしました。

総務省が日本の携帯電話料金などを世界6都市間で国際比較を行い、日本は他国よりも4割程度高いとの見解を示しました。他方、ヤフーの減益については今月からスマホ決済サービス「PayPay」をスタートしており、費用先行も影響しているとみられています。収益構造の変革が求められる目下、先行き不透明感が高まっており神経質な展開が続くと予想されます。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド

ファンドの費用	
購入時手数料	購入申込金額に3.24%(税込)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	信託財産留保額はかかりません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年0.9072%(税抜:年0.84%)を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用等が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
その他	※当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
ファンドにかかるリスクについて	
<p>【基準価額の変動要因】 本ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動し投資元本を割込むことがあります。特に、本ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に限定して投資を行いますので、銘柄構成が特定業種に集中する傾向や個別の組入比率が高くなる傾向があり、基準価額が大幅にまたは継続的に下落するリスクがあります。その結果、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。</p> <p><主な変動要因></p> <p>価格変動リスク 一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。</p> <p>流動性リスク 株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。</p> <p>信用リスク 投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。 ※リスクは上記に限定されるものではありません。</p>	
投資信託ご購入の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。 ● 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。 ● 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。 ● 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。 ● 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。 	

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。